

# かすかべ郷土かるたルール

## ■競技の人数

1チーム3人1組とし、2チームで対戦する。

## ■競技の進め方

- 1 3人(1チーム)が1列ずつ向かい合って正座する。
- 2 はじめに、お互いに礼をする。
- 3 取り札(絵札)を真ん中に置く。
- 4 3人(1チーム)の真ん中の人どうしてジャンケンをする。
- 5 ジャンケンに勝った人が取り札(絵札)をよく切り、切り終わったら23枚ずつ2つに分け真ん中に置く。
- 6 ジャンケンに負けた人は、真ん中に置いた取り札のどちらか一方を先に取り、勝った人はもう一方を取る。
- 7 それぞれ自分のチームの前に左上段より取り札23枚を横2段に並べる。
- 8 読み手は読み札を2回読み上げる。
- 9 札を取るときは「はい」と言って札にふれる。
- 10 読まれた札以外の取り札に手がふれた時は「おてつき」とする。
- 11 取り札が最後の2枚となったら、真ん中に置く。3人のうち一人が代表となって対戦し、1枚を取ったチームが最後の1枚を取ることができる。「おてつき」をした時は、2枚とも相手チームのものとする。

## ■得点の数え方

取り札1枚を1点として数える。ただし、次に掲げる「やく札」を3枚そろえた場合は10点を加算する。

### 《やく札》

#### ① シンボル札

「て」「伝統の 真心込めた 桐たんす」  
「ぬ」「ぬかあめに 優しく咲いた 桐の花」  
「れ」「歴史ある 小さな芸術 桐小箱」

#### ② 3人札

「こ」「子育ては 明日の夢かけ 吞龍に」(吞龍上人)  
「さ」「最勝院 市祖の名残す 重行公」(春日部重行公)  
「は」「母と子の 悲しき伝わる 梅若塚」(梅若丸)



## ■勝敗の決め方

総合得点の点数の多い方を勝者とする。また、同点の場合は「ふ」(市の花フジ)の札を持っているチームを勝ちとする。

## ■試合上の注意

- 1 読まれた札以外の札に手をふれたら「おてつき」とし、自分たちの取った札の中から1枚を相手チームに渡す。ただし、両方のチームが「おてつき」をした場合、または取り札がないときには渡す必要はない。
- 2 味方のチームの2人もしくは3人が同時に「おてつき」をした場合でも、相手に渡す札は1枚とする。
- 3 取り札に両チームの手が重なった時は、重なった手の下の者が取るものとする。
- 4 取り札に両チームが同時にふれた時は、自分の陣内のものがとれる。

※このかすかべ郷土かるたルールは、かすかべ郷土かるた大会で採用している競技必携の簡易版です。  
ご家族、お友達とかるたをする時は、人数によってルールを工夫してお楽しみ下さい。